

教えてドクター

ご存知ですか？ 奈良宣言 2023

先日、日本肝臓学会から「奈良宣言2023」が発表されました。テレビのニュースなどでも取り上げられたので、ご覧になった方も多いかと思います。同宣言は、国民病の一つである肝臓病を克服するため、「Stop CLD (Chronic Liver Disease=慢性肝臓病)」をスローガンに発信されたものです。今回はその内容をご紹介します。

近年、肝臓病の中で頻度が高かったウイルス性肝疾患(特にB型肝炎とC型肝炎)の治療法は劇的に進歩し、適切な診断と治療を施せば高確率で肝臓病の進行を抑えることができる時代になりました。一方で、主に生活習慣病に端を発する脂肪肝(アルコール性肝疾患や非アルコール性脂肪肝炎「NASH」)による肝硬変や肝がんの患者は年々増加し、大きな問題となっています。

CLDとは、肝炎ウイルスや脂肪肝、アルコール、免疫異常などのいずれかが原因で、肝臓が長期間炎症と修復を繰り返すうちに線維化し、持続的な障害を生じている状態

です。進行すれば、肝硬変など肝臓の機能不全状態や肝がんの成因となり得ます。

肝臓は「沈黙の臓器」と呼ばれ、肝硬変や肝がんなどに進行するまで自覚症状がないことも特徴の一つです。今回の宣言はCLDを早期に発見し、早期治療につなげるのが目的で、具体的には健康診断などの血液検査で「ALT >30 U/L」と診断された場合、まず、かかりつけ医の受診を勧めています。かかりつけ医が「消化器内科・肝臓内科の専門の医師による精密検査が必要」と判断した場合には、専門医療機関と連携して対応します。

ALTが30を超えるとCLDの恐れがあります。肝臓の声に耳を傾けるつもりで、血液検査の結果を確認してください。

DOCTOR

今回の教えてドクターは…

鹿児島大学病院 肝疾患相談センター
センター長 馬渡 誠一 先生



セミナーのご案内

◎第1回 鹿児島県肝疾患診療連携 ネットワーク研修会 オンライン開催

日時：10月17日(火) 17時～(予定)

対象：医療従事者、肝炎医療コーディネーター

◎鹿児島県肝炎医療コーディネーター 養成講座 ハイブリッド開催

日時：12月3日(日) 午前

会場：ダイワロイネットホテル会議室
(オンライン参加可)

対象：肝炎医療コーディネーターとして
活動希望の人、医療機関・行政の職員など

◎第2回 鹿児島県肝疾患診療連携 ネットワーク研修会 オンライン開催

日時：2024年1月23日(火) 17時～(予定)

対象：医療従事者、肝炎医療コーディネーター

詳しくは開催日の1カ月前に、
肝疾患相談センターの
ホームページでご確認ください。

鹿児島大学病院肝疾患相談センター→

